

元気いっぱい 友だちいっぱい
すずんてまはる 夢つぼる

横浜市立美しが丘小学校 平成28年 1月 29日



美小通信10

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

防災訓練

校長 畠山 真

睦月が去り、立春の如月に入ります。ついこの間新しい年になったと思ったらもう一月が経ちました。学校の門の所にある紅梅、白梅が咲き始め新春の香りを漂わせてくれています。

1月はじめには書き初めがあり、各学年とも堂々とした立派な字を書いています。3年生以上は毛筆でしたが、3年生は初めて大きな紙に書き、大きく堂々とした字を書いています。さらに1月24日は、給食記念日がありました。明治時代から始まったと言われる給食は、時を経て大きく様変わりしてきました。冬の季節に体を温めてくれる「けんちん汁」は、神奈川県が発祥の地と言われます。私が小学生のころは、給食がなく弁当を持参し牛乳だけでした。それから比べると今の給食はとても味がよく、特に本校の給食はおいしいと思います。栄養士の先生と給食調理員の方々が協力して作る給食は、本校の誇りでもあります。給食室の外の壁には毎月折り紙で作られた素敵な飾りが工夫されて貼ってあり、子どもたちの目を楽しませてくれています。子どもたちが安心して給食が食べられるような配慮もされていて、改めて食の大切さを感じます。

さて、本校では毎月避難訓練をしています。地震や火災など非常災害が発生した時のために防災訓練をしています。子どもたちは、毎回「あ(わてない)、お(さない)か(けない)し(やべらない)も(どらない)」この約束をしっかりと守って行動しています。先日の避難訓練は中休みに行われましたが、私も外に出て子どもたちの行動する様子を見ていました。鉄棒などで遊んでいた子どももすぐに話もせず真ん中に集まり、座って待っていました。次の放送で、地震から火災が発生したということで、どこから火災が発生したのかをしっかりと聞き、すべての児童が約束を守って運動場に避難してきました。私がマイクを使わずに避難訓練の様子を話しているときも、全員が私の目を見て静かに聞いていました。そのときに、なぜ集合した時に座って待つかという訳を話しました。東日本大震災が起こった時、余震がすごくて立って話してられなくて、迎えにきた保護者の方にも「座って話を聞いてください。」と伝えました。子どもたちには、大きな震災の時は立ってられないくらい揺れるということもあることを話しました。あの時以来、私は避難訓練の時はマイクを使わずに話をしています。地震で地域が停電になり、放送機器も一切使えなかったのです。

1月17日は、阪神大震災から21年目を迎え、3月11日には東日本大震災から5年を迎えます。「津波でんでんこ」という教えを守って自分たちで山の上まで避難して助かった岩手県の釜石小学校の子どもたちもいました。今月には、地域の防災訓練もあります。ぜひ、もう一度各家庭で非常災害が発生した時にどう行動したらよいかを話し合っておいてほしいと思います。「災害は、忘れたときにやってくる。」という教訓を生かして行動してもらいたいと思います。



書き初めの様子